

星空を観察してみよう

4月・5月のほしぞら



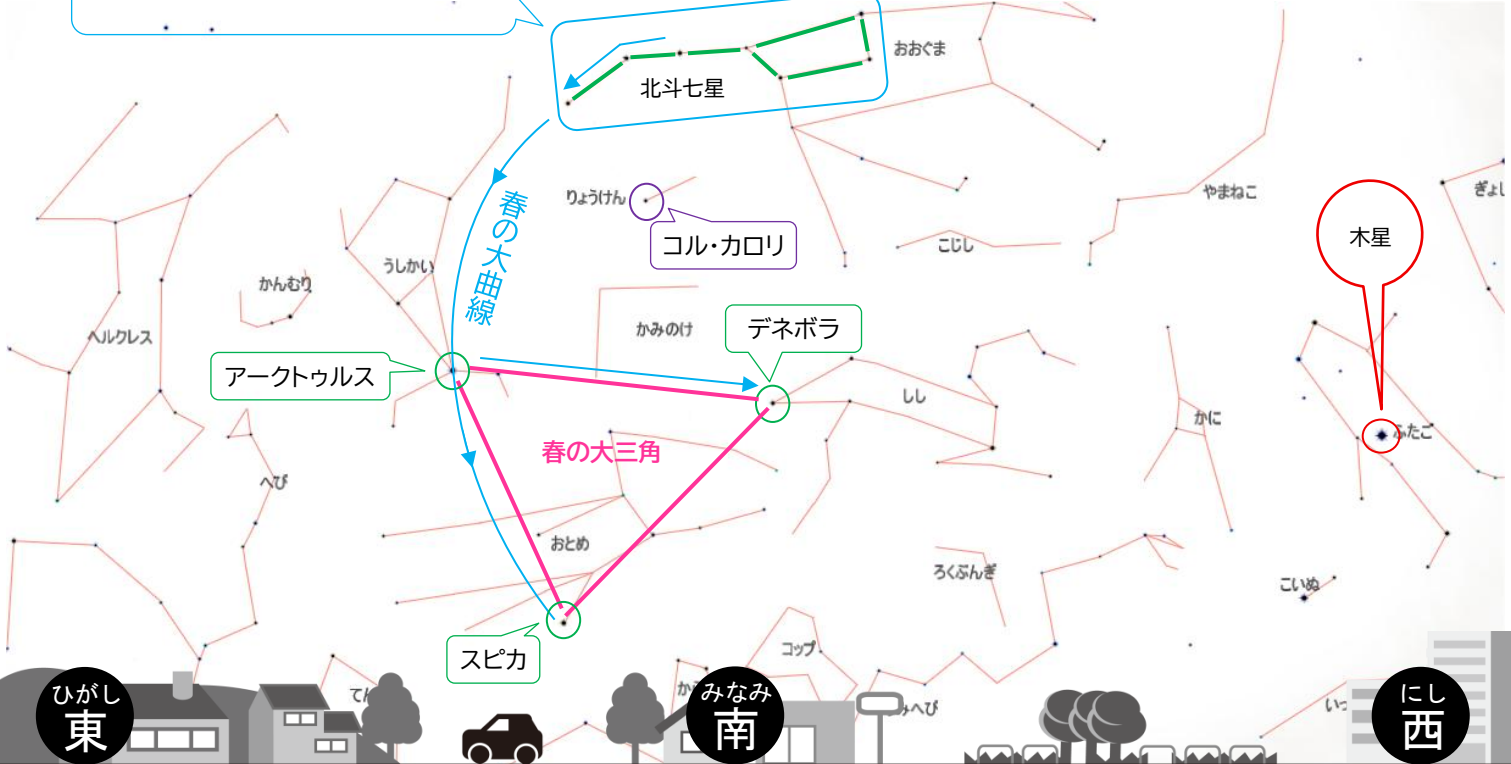
2026年4月1日
三重県立みえこどもの城 ドームシアター

	4月	5月
月の初旬	夜 11:00 頃	夜 9:00 頃
月の中旬	夜 10:00 頃	夜 8:00 頃

◆このほしぞらと同じように見えるのは、右の表の時間だよ。

★月の下旬は、次月の初旬とほぼいっしょです。

ひしゃくの持ち手のカーブをそのまま南へとのぼす



春の夜空で「春の大三角」をみつけてみよう！

春の大三角は、アークトゥルス、スピカ、デネボラという3つの明るい星を結んだ春の夜空を代表する星の並びです。この春の大三角は星座ではありませんが、春の星座を探す目印として活躍します！

見つけるときは、まず北の空、高くにひしゃくの形に並んだ7つの星「北斗七星」を見つけましょう。

北斗七星のひしゃくの持ち手（柄の部分）のカーブに注目します。このカーブをそのまま南の方向へ視線を移していくと、オレンジ色に明るく輝く1等星の「アークトゥルス」が見つかります。この星は『うしかい座』の星です。さらにカーブを南へのはばすと、青白く輝く1等星「スピカ」が見つかります。この星は『おとめ座』の星です。

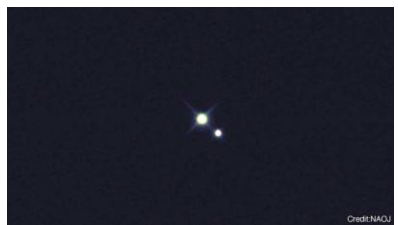
北斗七星からアークトゥルス、そしてスピカへと続くこのゆるやかなカーブは、「春の大曲線」とよばれています。この2つの星より南側のややはなれた位置に白く輝く2等星の「デネボラ」を見つけたら、これで「春の大三角」の完成です。ちなみに「デネボラ」はおとめ座と同じくお誕生日の星座の1つ『しし座』のしっぽで輝く星です。

春の大三角を探ることができたら、次はそれぞれの星座の形を覚えて、目印の星を手がかりに、星座も探してみましよう。

王様の名前の星がある？！



北斗七星の下に『コル・カロリ』という星があります。りょうけん座という星座の星で、「チャールズの心臓」という意味があります。イギリス王チャールズ2世にちなんで名付けられたとも言われています。星に王様の名前がついているなんて、カッコいいですね。また、この星は直接目で見ると1つに見えますが、望遠鏡で見ると、2つの星が隣あっていることがわかります。これを「二重星」といいます。小型の望遠鏡でも観測できるので、ぜひ見てみてください。



※国立天文台 HP より